## 第31回JA北海道大会 決議事項~ダイジェスト版~

## 大会決議

第31回JA北海道大会の将来ビジョンの実現に向けた各議案につい て、組合員・JA・連合会がそれぞれの役割を再確認するとともに、地域 や組織の実態に応じた「実践方策」を設定し、決議事項の実践に取り組 むものとする。

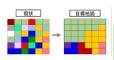
さらに、アグリアクションのもと、農業・食・JAへの理解醸成に一層取 り組むことで、組合員・JA役職員・地域住民など地域社会で生きる全て の「ひと」とともに「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」を達成す るものとする。

令和6年11月20日 第31回JA北海道大会

将来ビジョン

## 「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」

~ひとを育み、ひとと歩む~



農地の更なる集約化

農地の確保・適正利用、安定生産と環境負荷低減の両立、 農業所得の安定的な確保

#### 議案第1号

食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立

#### 基本目標

- ①農地の確保と適正利用の強化による農業生産の展開
- ②需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷低減の両立
- ③食料供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定確保
- ④組合員の意思結集による農政運動の展開強化



JA職員の人材確保

## 重点取組事項

#### 農業経営をサポート

#### 議案第2号

JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立

#### 基本目標

- ①協同組合理念の次世代への継承
- ②持続可能なJA経営基盤の確立に向けた経営管理・経営 統制の構築
- ③デジタル技術を活用した業務の効率化・生産性向上の追求
- ④事業継続に必要な人材の確保と定着化
- ⑤連合会の横断的な事業展開

#### 重点取組事項

農業・食への理解醸成

#### 議案第3号

農業・食・JAへの理解醸成

### AGRIACTION!

#### 基本目標

- ①アグリアクションによる農業・食・JAへの理解醸成
- ②食農教育の強化・充実による農業・食への理解醸成
- ③地域貢献活動の実践によるJAへの理解醸成

重点取組事項



安定生産と

環境負荷低減の両立

協同組合理念の 次世代への継承





### 【参考】食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に向けた展開方向

●農地の確保と適正利用の強化による農業生産の展開

②需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷低減の両立

❸我が国最大の食料供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定的な確保

主な環境変化等

本

食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の展開方向(生産現場の行動変容)

世界人口増加 ・国内人口減少

地球温暖化によ る大規模な気候

輸入食料・ 生産資材価格の 高騰・高止まり

環境負荷軽減を 意識した政策 への転換

消費者の 食生活・ニーズ の変化

SDGs の意識の高まり



●農地の適正利用の強化に より農地を減少させない (林野・雑種地も含め地 域資源を守る) ●農畜産物の安定供給、農

業所得の確保 ●食料供給基地

を担うにふさ わしい農業所 得の安定確保

●国産農畜産物に対する 価値の共有による消費

食料・自給飼料等の安定生産・安定供給と農業における環境負荷低減の両立 両立 農業における 食料 【収量(生産量) 自給飼 安定生産 環境負荷低減 化学肥料等の低減・ 未利用資源の有効活用 環 供の 境負荷 再生可能エネルギー の有効活用への挑戦

【JAグループ北海道】 総合力を発揮して生産現場を後押し

両立の基本となる考え方 最適収量 の追求 ●最大収量 → 収量 環境負荷 北海道農業に おける最適範 囲を追求して まいりたい。 社会にとっての 最適範囲 【資源投入量】 0

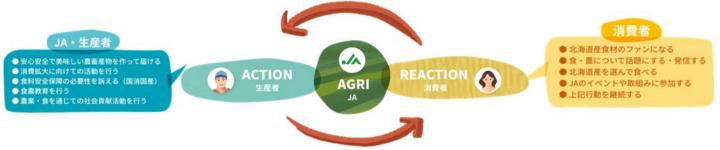
【国・北海道】生産現場における●~❸の行動変容に対する力強い政策支援

≫ JAグループ北海道では、令和4年12月8日開催の第8回北海道農協基本農政対策本部委員会において、 食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷低減を目指す「展開方向」を決定した。

# AGRIACTION! LIT?

HOKKAIDO

農業(AGRI)から、さまざまな行動(ACTION)を起こすことで、 消費者に農業や食への理解を深めてもらい、北海道農業や食を応援し、 味方になってもらう(REACTION)ことを現したJAグループ北海道独自の言葉。



### 各種リンク





大会資料データ



アグリアクション ホームページ